

共通取組 重点取組	平成25年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな 学力	・授業研究を通して、個々の教師の授業力向上を図る。 ・教科の特性を生かした言語活動を取り入れ、表現し合い、思考を高め合う実践をする。	・校内研修、授業研究を通し、学年、学校で取り組んだことにより、子どもが見通しを持ち、主体的に学習しようとする意欲が高まった。	A B C D
2 豊かな心	・道徳の時間はもとより、各教科等の授業を含む様々な教育活動において、自他を大切にしている心情や態度を育てる。	・各学級で「ハートのめあて」を決めたり、道徳授業の全学級公開、人権意識を高める取り組み、読書推進活動、人・自然・社会とのふれあいを大切に体験活動などを通して、自他を大切にしている心情が育ってきた。	A B C D
3 健やかな 体	・自己の健康や運動との関わりを理解し、実践する子を育てる。 ・進んで運動する楽しさや友達との関わりを楽しむ機会を設ける。 ・自分のよさや可能性に気づき、挑戦する心を養う。	・学校保健委員会で体を動かす楽しさや歯の健康について取り組んだ。運動委員会が企画した集会に向けて学級の目標を決め主体的に練習する姿が見られた。	A B C D
4 教育 課程・学 習指導	・身につける力を明確にし、基礎・基本の学力の定着を図り一人ひとりの子どもの実態にあった指導を行う	・課題が間違ひのまま終わらないよう、個別指導を根気よく行ったが、学年で身につけた力の定着は個人差も大きく、課題が残る。	A B C D
5 児童生徒 指導	・あいさつ運動を定着させ、気持ちのよい落ち着いた学校生活をおくることができるようにする。 ・小中で意見を交わした「学校のきまり」や「9年間で育てる子ども像（姿）」をもとに、子どもたちを育てる体制を整える。	・校内では進んで挨拶をする子が増えているが、校外でもすることが課題である。 ・小中ブロック目標をもとに児童生徒間、職員間の交流を深めた。	A B C D
6 地域連携	・学校説明会、懇談会などの機会を活用して中期学校経営方針を説明し、学校教育活動への理解が深まり必要な協力を得られるようにする。	・地域の方の協力を得て、豊かな体験活動を行った。授業参観、懇談会の機会を適切に設けているが、参加者を増やすことが課題である。	A B C D
人材育成 組織運営	・各分掌、各学年の教科等の引き継ぎを計画的に行い、分掌及び組織が年々機能性の高いものになるよう工夫を重ねる。 ・メンターチームを充実させ、若手相互や主幹教諭、学年主任、教科領域主任が積極的に実践力を高めるような人材育成に努める。 ・組織の効果的運営とミドルリーダーの育成を目指し、情報交換、意見交換を充実させる。	・教職員の適正に応じた校務分掌になっており、学校運営に意欲的に取り組めた。 ・メンターチームでの研脩が日々の授業づくり、学級づくりに生かされた。 ・日々、教職員の間で必要な情報が共有され、意見が学校運営に反映された。	A B C D
小中一貫 教育推進 ブロック内 相互評価 結果	・分かりやすい共通テーマで進め、年間6回の協議会の意義や有用性を感じられた。 ・小中合同授業研や人権の講演会などの取り組みについての成果を実感することができた。グループワークでの意見交流により、主体的に話すことができた。 ・試験や成績提出の直前などをできるだけ避け、日程調整をしいていきたい。 ・教科ごとに集まって話す機会を増やしたい。		
学校関係者 評価結果	・先生たちはよくやっている。 ・交通ルールを親や大人が守っていない。		
評価結果に 対する 学校の見解	・教職員が幼保小中、PTA、地域と連携し、成果を上げてきたが、保護者の学校への参画意識が十分ではない。次年度も本校の経営方針や教育活動の実際を説明会、参観、懇談会等の機会に情報発信に努める。		
学校経営 中期目標 達成状況	・全教職員が研究・研修を意欲的に取り組み、よりよい学校づくりを目指し、共通理解を図りながら、計画的かつ組織的に学校経営に関わる体制ができつつある。 ・特色ある学校づくりを推進し、共に育てる「共育」を目指してきた。地域との連携は深まってきたので、今後は保護者との連携を強めていく。		

共通取組 重点取組	平成26年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな 学力	・授業研究を通して、個々の教師の授業力向上を図る。 ・教科の特性を生かした言語活動を取り入れ、自分の考えを表現しながら話し合い、思考を高め合う実践をする。	・校内重点研で視点を絞り、研究討議をより積極的に深めることができた。様々な方法で考えを伝えようとする姿勢が高まったが個別の支援が必要な子も多い。	A B C D
2 豊かな 心	・道徳の時間はもとより、各教科等の授業を含む様々な教育活動において、自他を大切にしている心情や態度を育てる。	・「ハートのめあて」を振り返りながら、思いやりや優しさを育ててきた。自他を大切にしている心の育ち、またいじめに対する感度が上がってきているが、自分の気持ちをうまく伝えられない子がいる。	A B C D
3 健やかな 体	・自己の健康や運動との関わりを理解し、実践する子を育てる。 ・進んで運動する楽しさや友達との関わりを楽しむ機会を設ける。 ・自分のよさや可能性に気づき、挑戦する心を養う。	・学校保健委員会で歯の健康についての取組を続け、意識が高まってきた。運動委員会主催の縄跳び集会に向けた練習や、早朝の長距離走練習に主体的に取り組む姿が見られた。	A B C D
4 教育 課程・学 習指導	・自分のめあてを伝えたり、振り返りをしたりして、一人ひとりが身につけたい力を明確にし、基礎・基本の学力の定着を図る。	・細かい手立てを講じ、基礎基本の定着を図るようにした。相手意識、学び合いの意識の薄さ、理解が難しい子への支援の仕方、学習形態の工夫等が課題である。	A B C D
5 児童生徒 指導	・地域の人へも含めあいさつ運動を定着させ、気持ちのよい落ち着いた学校生活を送ることができるようにする。 ・小中で意見を交わした「学校のきまり」や「9年間で育てる子ども像（姿）」をもとに、子どもたちを育てる体制を整える。	・校外でのあいさつ活動は、引き続き課題である。 ・小中ブロックで情報交換を行い、重点項目の達成に向けて話し合いを深めた。	A B C D
6 地域連携	・学校説明会、懇談会などの機会を活用して中期学校経営方針を説明し、学校教育活動への理解が深まり必要な協力を得られるようにする。	・地域や保護者へ適切に情報を発信し、地域行事へも積極的に関与して連携を深めてきた。しかし、学年・学級懇談会は、まだ参加が少ない。PTA 組織と連携し、会を充実させていきたい。	A B C D
人材育成 組織運営	・校内研修の計画的な実施により、コンプライアンス、児童指導、危機管理対応能力など、学校に求められる教師の能力を向上させ、資質向上を図る。 ・各分掌、各学年の教科等の引き継ぎを計画的に行い、分掌及び組織が年々、機能性の高いものになるよう工夫を重ねる。 ・メンターチームを充実させ、若手相互や主幹教諭、学年主任、教科領域主任が積極的に実践力を高める人材育成に努める。 ・組織の効果的運営とミドルリーダー育成を目指し情報交換意見交換を充実させる。	・校内研修により、資質の向上を図ることができた。校外研修会・研究会の成果を他の職員へ伝えるための工夫を考える。 ・メンターチームでの情報交換、指導案検討、授業研究など充実した研修ができた。 ・会議、研修会に限らず、日常的に職員で情報交換や学習・生活指導、組織の運営などについて話し合いや事例検討が行われ、人材育成や学校運営に反映された。	A B C D
小中一貫 教育推進 ブロック内 相互評価 結果	・9年間で育てる子ども像の中でも重点項目を決めて協議会を進めたことで、より具体的に、焦点を絞った情報交換ができた。 ・人権の講演会はとても意義あるものだったので、これからも取り入れていく。 ・成績提出などの多忙の時期に行うことに無理があったので、来年度は1回毎を充実させて、年間5回とする。		
学校関係者 評価結果	・学校で情報機器の使い方にもっと取り組んでほしい。 ・学校の指導が、児童の放課後の過ごし方につながっていない様子が見られる。保護者の理解と家庭でのしっかりした指導が必要と考える。 ・数値だけでなく保護者の評価を励みに引き続き取り組んでほしい。		
評価結果に 対する 学校の見解	・基礎基本の定着、学習に対する意欲の高まりについて具体的な姿を定義づけ、「わかって楽しい」授業を「できる」につなげていく。 ・教職員間の連携、教職員と地域の連携が深く、成果を上げているが、懇談会への参加が少ないなど、身近な保護者との連携の重要性を伝えることに努める。		
学校経営 中期目標 達成状況	・全教職員が、学校の課題や関係する諸問題を共通理解し、同じ方向性で取り組む体制をつくってきた。組織的・共働的に動くことができた。 ・教職員と地域との連携が深い中、児童が地域に出ても力を発揮できるよう、保護者との連携をさらに強めていく。		

共通取組 重点取組	平成27年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな 学力	・授業研究を通して、個々の教師の授業力向上を図る。 ・教科の特性を生かした言語活動を取り入れ、自分の考えを表現しながら話し合い、思考を高め合う実践をする。	・道徳の時間はもとより、各教科等の授業を含む様々な教育活動において、自他を大切にしている心情や態度を育てる。	A B C D
2 豊かな 心	・道徳の時間はもとより、各教科等の授業を含む様々な教育活動において、自他を大切にしている心情や態度を育てる。	・道徳の時間はもとより、各教科等の授業を含む様々な教育活動において、自他を大切にしている心情や態度を育てる。	A B C D
3 健やかな 体	・自己の健康や運動との関わりを理解し、実践する子を育てる。 ・進んで運動する楽しさや友達との関わりを楽しむ機会を設ける。 ・自分のよさや可能性に気づき、挑戦する心を養う。	・自己の健康や運動との関わりを理解し、実践する子を育てる。 ・進んで運動する楽しさや友達との関わりを楽しむ機会を設ける。 ・自分のよさや可能性に気づき、挑戦する心を養う。	A B C D
4 教育 課程・学 習指導	・自分のめあてを伝えたり、振り返りをしたりして、一人ひとりが身につけたい力を明確にし、基礎・基本の学力の定着を図る。	・自分のめあてを伝えたり、振り返りをしたりして、一人ひとりが身につけたい力を明確にし、基礎・基本の学力の定着を図る。	A B C D
5 児童生徒 指導	・地域の人へも含めあいさつ運動を定着させ、気持ちのよい落ち着いた学校生活を送ることができるようにする。 ・小中で意見を交わした「学校のきまり」や「9年間で育てる子ども像（姿）」をもとに、子どもたちを育てる体制を整える。	・地域の人へも含めあいさつ運動を定着させ、気持ちのよい落ち着いた学校生活を送ることができるようにする。 ・小中で意見を交わした「学校のきまり」や「9年間で育てる子ども像（姿）」をもとに、子どもたちを育てる体制を整える。	A B C D
6 地域連携	・学校説明会、懇談会などの機会を活用して中期学校経営方針を説明し、学校教育活動への理解が深まり、保護者との連携や必要な協力を得られるようにする。	・学校説明会、懇談会などの機会を活用して中期学校経営方針を説明し、学校教育活動への理解が深まり、保護者との連携や必要な協力を得られるようにする。	A B C D
人材育成 組織運営	・校内研修の計画的な実施により、コンプライアンス、児童指導、危機管理対応能力など、学校に求められる教師の能力を向上させ、資質向上を図る。 ・各分掌、各学年の教科等の引き継ぎを計画的に行い、分掌及び組織が年々、機能性の高いものになるよう工夫を重ねる。 ・メンターチームを充実させ、若手相互や主幹教諭、学年主任、教科領域主任が積極的に実践力を高める人材育成に努める。 ・組織の効果的運営とミドルリーダーの育成を目指し、情報交換、意見交換を充実させる。	・校内研修の計画的な実施により、コンプライアンス、児童指導、危機管理対応能力など、学校に求められる教師の能力を向上させ、資質向上を図る。 ・各分掌、各学年の教科等の引き継ぎを計画的に行い、分掌及び組織が年々、機能性の高いものになるよう工夫を重ねる。 ・メンターチームを充実させ、若手相互や主幹教諭、学年主任、教科領域主任が積極的に実践力を高める人材育成に努める。 ・組織の効果的運営とミドルリーダーの育成を目指し、情報交換、意見交換を充実させる。	A B C D
小中一貫 教育推進 ブロック内 相互評価 結果			
学校関係者 評価結果			
評価結果に 対する 学校の見解			
学校経営 中期目標 達成状況			

※当該年度の達成状況：A…十分達成 B…概ね達成 C…努力必要 D…必要

横浜市立〇〇 特別支援学校 学校評価報告書 (平成25年度～平成27年度)

共通取組 重点取組	平成25年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな 学力			A B C D
2 豊かな 心			A B C D
3 健やかな 体			A B C D
4			A B C D
			A B C D
			A B C D
人材育成 組織運営			A B C D

共通取組 重点取組	平成26年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな 学力			A B C D
2 豊かな 心			A B C D
3 健やかな 体			A B C D
4			A B C D
			A B C D
			A B C D
人材育成 組織運営			A B C D

共通取組 重点取組	平成27年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな 学力			A B C D
2 豊かな 心			A B C D
3 健やかな 体			A B C D
4			A B C D
			A B C D
			A B C D
人材育成 組織運営			A B C D

外部委員 評価結果	
学校関係者 評価結果	
評価結果に 対する 学校の見解	

外部委員 評価結果	
学校関係者 評価結果	
評価結果に 対する 学校の見解	

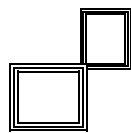
外部委員 評価結果	
学校関係者 評価結果	
評価結果に 対する 学校の見解	

学校経営 中期目標 達成状況	
----------------------	--

学校経営 中期目標 達成状況	
----------------------	--

学校経営 中期目標 達成状況	
----------------------	--

※当該年度の達成状況： A…十分達成 B…概ね達成 C…努力必要 D…改善必要



※当該年度の達成状況： A…十分達成 B…概ね達成 C…努力必要 D…改善必要